



『プラネタリウムの
思い出し』

小諸養護学校 中学部

小諸養護学校中学部3学年は、昨年度の春の校外学習で佐久市こども未来館に行ってきました。その際プラネタリウムを見学しました。生徒たちは、天井いっぱい広がる夜空の星の様子に大興奮。あちらこちらから喚声が上がりました。学校に戻ってから「あの時の感動を作品に残しておこう」と作品作りに取り組みました。紙粘土で星を作りました。自分で形を作る生徒、型抜きを使ってくり抜く生徒、色々です。自分の好みの色をぬって画用紙に星をイメージして貼りつけました。更に夜空の星を思い浮かべ、絵の具で画用紙に色をとばして色遊びをしながら着色しま

した。この色遊びにまたまた大興奮。大盛り上がりで作品作りに取り組みました。どの生徒の作品も、それぞれ味のある表現となりました。その中から、小林侑加さんと林佑紀さんの作品を掲載し、ご紹介します。



林 佑紀さん



小林さんの作品



小林侑加さん



林さんの作品

※この作品は昨年度のものです。



『チャレンジタイム』で製作した作品



小諸養護学校中学部では「チャレンジタイム」という物作り授業の中で製作した作品を毎年10月に行われる小養祭にて販売をしています。どうぞ足を運んでみてください。



柳 好 会



土笛小諸短歌会

- 歳貫い三百六十五日又背負う 土屋 正示
- 縦糸へ無心に紡ぐ横の糸 山 の あ な た
- 子どもらの輝く笑顔宝物 三石 恭子
- 一瞬間を抜いたばかりの苦い道 高山 はな
- 趣味の域越えて極めたひたむきさ 泉 多愉
- 生き甲斐を見つけ輝き出す老後 街角の一枝
- 雨ばかり続くこの秋稲はどの色褪せにけり捻りはいかに 柳沢つる子
- ひこ孫の軽やかに踊るジンチャチャチャ 土屋 弘子
- まねしてみても手も足も出さず 土屋 乃里
- 雨止みて歩道に大水たまり 秋を映せり燈みし青空 土屋 乃里
- 枯草をこっそり抜けば枯色の小さき蛙がひよっこり顔出す 小野山玲子
- 愛犬はストーブの前に丸くなる外はこの冬四度目の雪 松村 泰子
- 通学に使いし近道さがしあて女学生となり駆け下りてみる 井出 宣子